

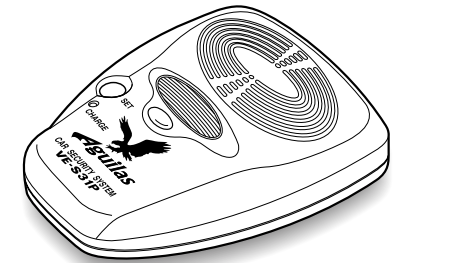


CAR SECURITY SYSTEM

監視郎

VE-S31P

取扱・取付説明書/保証書



12V車専用

このたびは、Aguilas「監視郎 VE-S31P」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機は、車内に装着し、車輛への接近やウィンドウへの衝撃、ドア開、車内への侵入を感じると、抑止効果のある光、サイレン、または、ボイスアラームとサイレンの組み合わせにより警告・警報を発し、車上荒らしや盗難を未然に防止する防犯装置です。また本機は、電波法第四号「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六号「特定小電力無線局」に該当する移動体検知センサー用無線設備です。

注意

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

なお、お読みになられたあと、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

コピテル工業株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33
6SS0673

本機をご使用になる前に、付属のニッケル水素電池を装着し、車のエンジンをかけて(エンジンキーがACCまたはON)1時間以上充電してください。

※充電中は本機バッテリーカバー付近が熱くなりますが、故障ではありません。

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(右記載)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	監視郎 VE-S31P
S/No.	
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	対象製品(保証書に添付された保証書)は除くお買い上げの日から1年
お名前	様
お客様住所	〒 TEL()
販売店住所	上記に記入または捺印のない場合は、必ず販売店が発行の領収書等、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

- <無料修理規定>
- 記載の保証期間内に、本書に従った正常な取り付け・接続、使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。尚、本製品を取り付けたことによる車の故障や事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。
 - 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
 - ご購入の贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
 - 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
(イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、被害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
(ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
(ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
(ヘ) 本書のご提示がない場合
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
(チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
(リ) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
 - 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 - 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ (症状をなるべく詳しくご記入ください。「故障内容」取り付車種・年式)

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理について詳しくはアフターサービスについてをご覧ください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

警告：警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

注意：注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

△△ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

①② 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

❗❶ 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

電波法に関してのご注意

- セキュリティユニット裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。
- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

警告

- 車内に人(特に子供)やペットがいるときには、**本機の設定をしない**…動きを感じし、警告・警報機能がはたらき、大音量を発生しますので、聴覚障害やストレスを与える恐れがあります。
- 水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。
- 運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。
- 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。
- 機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。
- 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
- 万一セキュリティユニットを破損した場合は、すぐにセキュリティユニット接続コードを抜き、電池を取りはずす…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
- バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。本機はエンジンキーと連動して車側の電源がOFFにならないと設定できません。
- サービスマン以外の人、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。
- セキュリティユニット接続プラグは確実に差し込む…接触不良を起こして火災の原因となります。また、接触不良を起こしていると、正しく動作しません。
- 12V車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。
- ぬれた手でセキュリティユニット接続プラグの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。
- エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コードが妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。
- 専用電池以外は使用しない…付属の電池は本機専用です。安全のため、専用電池以外は使用しないでください。

注意

- 取り付けは確実に行う…落ちたりして、ケガの原因となります。
- セキュリティユニット接続プラグを抜くときは、セキュリティユニット接続コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずセキュリティユニット接続プラグを持って抜いてください。
- お手入れの際は、セキュリティユニット接続プラグを抜く…感電の原因となります。

ご使用にあたって

使用上のご注意

■付属のニッケル水素電池装着後、使用前に1時間以上充電してください。充電は、本機とセキュリティユニット接続コードを接続し、車のエンジンをかけて(エンジンキーがACCまたはON)ください。

※走行中に充電され、エンジンを切る(エンジンキーをOFF)と自動的にセキュリティが設定されますので、常時セキュリティユニット接続コードを接続しておいてください。

■強い雨や雪、雪(ヒョウ)などを感じ知して警報する場合があります。

■ウィンドウに雪が積もっていると、接近を感じできにくい場合やできないことがあります。

■ガソリンの給油などエンジンを切った車内に待機する際は、スタンバイ時間中にSETボタンを押して、セキュリティを解除してください。

■車輛の窓ガラスにウィンドウフィルムが貼ってある場合、そのフィルムの材質によっては、接近感知ができなくなったり、感度が低下する場合があります。

本機は、センサーにより異常を感じし、警告・警報を発する防犯装置で、イタズラ、盗難を完全に防止できるものではありません。

また、本機の動作の有無にかかわらず発生した盗難事故、イタズラなどによる損害、被害に対しての責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

- サンバイザークリップ(1)
- コードクリップセット(1)
- エレクトロタップ(3)
- フーリングステッカー(1)
- 本書(保証書)
- マジックテープ(1)
- タイラップ(大1、小2)
- ニッケル水素電池(1)

※フーリングステッカーは、自動車の前面ガラスおよび運転席側面ガラスには貼りつけないでください。

日頃から防犯をお心がけください

- エンジンキーを付けたままの状態ですから離れない。
- 車から離れるときは、すべてのドアがロックされていることを、必ず確認する。
- 駐車中は、すべてのウィンドウを完全に閉める。
- 車内に貴重品を置かない。貴重品でなくとも、目につく物はできる限り置かない。
- 駐車するときは、できるだけ「明るい」、「人通りのある」場所を選ぶ。

特長

- 高性能マイクロ波センサーが愛車を監視。**
車への接近やウィンドウへの衝撃、ドア開、車内への侵入を感じして、警告・警報。マイクロ波センサーが接近を感じると、警告音とハザードランプ点滅(3回)で不審者を威嚇。車上荒らしや盗難などの防犯効果に威力を発揮します。
※RV車やミニバンなどの大きな車種では、車への接近を感じできない場合があります。
- お手持ちのキーレスエントリーでセキュリティの解除が可能。**
キーレスリモコンを使って、VE-S30Pの一時解除が出来ます。
※信号線をドアロックモーターに接続した場合はエンジンキーでドアをアンロックするとセキュリティ解除となります。
- ハザード威嚇機能。**
セキュリティ監視中に接近を感じると、警告音とハザードランプの点滅(3回)で威嚇します。
- 光、サイレン、ボイスアラームの組み合わせによる効果的な警告・警報。**
異常を感じたときには、警告ランプ(高輝度クリプトンランプ)が点滅し、サイレン、またはボイスアラーム(ボイスアラームは日本語または英語を選択できます)とサイレンの組み合わせにより、効果的に警告・警報します。
- 3段階の感度設定が可能。**
車の大きさや駐車環境に応じて、感度(感知エリア)を設定(3段階)できます。またスーパーの駐車場など、人の出入りが多い駐車場で警告音を鳴らさない「警告音キャンセル機能」を搭載しました。
※警告音キャンセル機能を設定している場合、ドア開や車内侵入を感じたときには、ボイスアラームとサイレン、またはサイレンでの警報を行います。また、感度の設定状況や車輛の通過など、大きな動きを感じした場合は警告・警報を行う場合があります。
※本機アンロック動作によるセキュリティ解除は一時解除となり、スタンバイ時間中(60秒またはオート)に車のキーがACCにならない場合は、再度セキュリティ監視状態となります。
- 車のエンジンキーのON/OFFに連動したセキュリティ(監視動作と警告・警報動作)の解除/設定。**
車のエンジンを切ると約1秒後にスタンバイ時間となり、その後、一定時間(60秒またはオート)を経過すると、自動的に監視動作に入ります。またエンジンをかける(エンジンキーがACCまたはON)と自動的にセキュリティが解除されます。
※本機アンロック動作によるセキュリティ解除は一時解除となり、スタンバイ時間中(60秒またはオート)に車のキーがACCにならない場合は、再度セキュリティ監視状態となります。
- 高輝度LEDの点滅による"みはり効果"で、盗難やイタズラを未然に防止。**
監視中は、みはりインジケーター(高輝度LED・赤色)がゆっくり点滅し、"みはり効果"を演出します。
- 走行中に自動充電し、1時間の充電で約1週間の連続監視が可能。**
エンジンをかける(エンジンキーがACCまたはON)とセキュリティが解除され自動的に充電されます。充電1時間で、約1週間の連続監視ができます。
- ターボタイマー、リモコンエンジンスタートとの併用が可能。**
※ターボタイマー、リモコンエンジンスタート作動中ACC電源が入らないものとは併用できません。
※ターボタイマー、リモコンエンジンスタート作動中はセキュリティが解除されます。

各部の名称と働き

セキュリティユニット

拡張ユニット接続端子
何も接続しません。
※今後、拡張ユニットが用意された場合に使用いただく備えで、現状では何も接続しません。

サイレン
警告・警報音を出力します。
110dB/15cm

スピーカー
ビープ音、ボイスアラームを出力します。
ボイスアラーム 70dB/15cm以上

警告ランプ(高輝度クリプトンランプ)
警告・警報中に点滅します。

SETボタン[SET]
警告音キャンセル機能、監視解除、スタンバイ時間の設定を行います。

みはりインジケーター(高輝度LED・赤色)
車のエンジンキーがOFFになった後、監視状態に入るまでは早い点滅をします。監視状態では遅い点滅になり、盗難やイタズラを未然に防止します。

ストラップ取付け穴

感度切替スイッチ[SENS]
センサー感度を3段階に切り替えます。

バッテリーカバー内
ディップスイッチ
警報モード、ボイスアラームの日本語・英語を選択できます。

電池収納部
付属のニッケル水素電池を装着します。

エンジンキーOFFを検出したときには、約1秒後にスタンバイ時間となり、その後、一定時間後に自動的に監視状態になります。

セキュリティアダプター

アクセサリ電源(青)
車のキーと連動してON/OFFする電源線に接続
※オーディオ用ACC電源または一部の車種別専用ハブネズではキボシ付き青線と接続できます。

アース線(黒)
車の塗装されていない既存のビスなどに接続

信号線(黄/黒)

ハザードランプのプラス側に接続(緑/赤)

ハザードランプのプラス側に接続(緑/黒)

セキュリティユニット接続コード(白・黒)
セキュリティユニットに接続

ハザード制御線(緑)
弊社エンジンスタート、オートキーレスシステムを併用する場合に接続
※エンジンスタート、オートキーレスシステム付属の取付・接続説明書をご覧ください。

常時電源(赤)
車のキーを抜いた状態でも通電している(常時+12V)線に接続

セキュリティアダプターの接続

※接続は「エレクトロタップの使いかた」を参照して行ってください。接続後には、接続部を必ず絶縁テープでテープピングしてください。

ハザードアンサーバック機能のあるキーレス搭載車に接続する場合

- キーレス操作時のハザードランプ点滅を検出して、セキュリティを一時的(60秒またはオート：スタンバイ時間の設定状態による)に解除します。キーレス操作後(スタンバイ時間中)は接近、ドア開での警報を鳴らしませんので、速やかに車に乗り込みエンジンキーをACCまたはONにしてください。スタンバイ時間を経過すると警告・警報音が鳴ります。
※ドアロック/アンロックどちらの操作においてもセキュリティは一時解除となります。
- セキュリティ設定中、不審者の接近を感じすと警告音とハザードランプを点滅(3回)して威嚇します。(ハザード威嚇機能)
セキュリティ一時解除を車輛のキーレスエントリーに連動して行います。ドアロック・アンロック時にハザードランプが点滅する車種では以下のように配線します。

ハザードアンサーバック機能のあるキーレス搭載車に接続する場合

- キーレスまたはエンジンキーでのドアアンロック信号を検出して、セキュリティを一時的(60秒またはオート：スタンバイ時間の設定状態による)に解除します。アンロック操作後(スタンバイ時間中)は接近、ドア開での警報を鳴らしませんので、速やかに車に乗り込みエンジンキーをACCまたはONにしてください。スタンバイ時間を経過すると警告・警報音が鳴ります。
※警告音キャンセル機能はご使用になれません。
- セキュリティ設定中、不審者の接近を感じすと警告音とハザードランプを点滅(3回)して威嚇します。(ハザード威嚇機能)
セキュリティ一時解除を車輛のキーレスエントリーに連動して行います。集中ドアロック搭載車やキーレスエントリー搭載車では以下のように配線します。
※ドアロックモータに接続した場合は、警告音キャンセル機能が設定できません。

エレクトロタップの使いかた

各検出線は以下の手順で接続してください。

- ① 各検出線を図のストプに突きあて、分岐もとのコードを通して矢印のように折り返す。
- ② もう1度、矢印のように折り返す。
- ③ プライヤーなどで、ラッチがかかままで締め付け。
- ④ 絶縁テープを巻く。
※接続された箇所(エレクトロタップ部)は、ショートや振動などにより、車にトラブルを起こす原因となる場合があります。必ず絶縁テープでテープピングしてください。

